もっともっと下北を輝かせるために

念願の日本ジオパーク認定から1年。下北がジオパークに認定されたことは、テレビや新聞で広く紹介されました。
しかし、ジオパークに認定されたことがゴールではありません。
そこに住む誰もが下北の自慢を語る素敵なまちになるために、日々さまざまな活動が行われています。
まちのためにできる大切なこと。その一部をご紹介します。

教育

むつ市立苫生小学校では、総合的な学習の時間を活用して下北ジオパークを学習。
地質や自然だけでなく、そこから始まる歴史の中に今があることを学びます。
自分たちが暮らす地域の誇りや自慢を手に、修学旅行先で下北のPR活動も行なっています。

国際交流

世界のジオパークはどのような取組みを行なっているか。実際に現地に赴き、意見交換を行なっています。昨年、台湾の野柳地質公園との交流が生まれたことから、今年に入り今度は台湾の関係者が下北へ。
世界のジオパークとのネットワークによる、世界の目を下北へ向ける活動です。

出前講座

私たちの地域のどんなことが誇りなのか。当たり前と思っていたからこそ行ってみたことが無かった。自分が下北の魅力をどのように発信できるのか。出前講座で全部解決します。
下北を自慢するためには、まず自分で体感してみましょう!

ガイド養成

「わあ、きれいな景色!」だけでは終わらせない。
なぜそんな景色になったのか。こんなに美味しいものが食べられるのには理由がある。
下北を堪能していただくために、ガイドの活動は欠かせません。

interview

ジオツーリズムと子どもたちの未来に期待

下北ジオパーク推進協議会顧問
認定特定非営利活動法人
斗南どんどこ健康村理事長

奈良 正義 氏

地学の専門家として、当初からジオパーク構想に携わる。元高校教諭。
愛読書は、下北ジオパーク推進協議会特別顧問にもなっている国立研究開発法人海洋研究開発機構理事長平朝彦氏の著書「日本列島の誕生(岩波新書)」。

ジオのまちへ

平成21年4月。川内町田野沢にて行われた田野沢海底林の案内看板設置除幕式にて、故宮下順一郎前むつ市長からいただいた祝辞の中に「ジオパーク」という言葉がありました。これが、下北ジオパークの本当の始まりだと記憶しています。
それまで、地質学的にみた日本の貴重な自然資源を選定する「日本地質百選」に、県内では唯一恐山と仏ヶ浦が選定されていた下北において、ついにジオパークの構想が立ち上がるということに、感慨深い思いを抱きました。

私は、「ジオツーリズム」が大事だと思っています。それは、ただの旅行ではなく、興味をもって見学し学習する旅行。そしてひとつのジオサイトを見て帰るのではなく、数か所を巡って帰ること。そのために迎え入れる私たちも、さまざまな準備が必要です。
また、その一環として、子どもたちの体験学習も重要になってきます。体験学習が地元愛を深め、就職や就学で一度は都会に出て行く子どもたちも、将来は地元に戻って根を張るきっかけになれば、下北がジオパークになった意義は大きいと思います。

下北ジオパーク 認定までの軌跡

平成21年4月
下北半島ジオパーク認定の第一歩
下北総合開発期成同盟会で調査・検討開始

平成25年1月
下北半島ジオパーク構想推進協議会設立

平成26年3月
下北半島ジオパーク構想としてＪＧＮ(日本ジオパークネットワーク)加盟認定申請提出

平成26年8月
ＪＧＮ加盟認定の見送りが決定
一丸となって取り組むべき課題の見直し

平成27年4月
下北ジオパーク構想推進協議会に名称変更
認定に向けた取り組みをさらに強化

平成27年11月
下北ジオパーク住民会議開始

平成27年12月
新テーマ「海と生きるまさかりの大地」決定

平成28年4月
ＪＧＮ加盟認定申請(再申請)

平成28年5月
ジオパーク認定プレゼンテーション
(千葉県幕張メッセ)

平成28年8月
認定審査員３名による現地審査

平成28年9月
審査結果報告会　ＪＧＮ加盟決定
下北ジオパーク 誕生

ジオパークという言葉がつなぐ未来

ジオパーク認定って言ったって、何も変わらないんじゃない!?
いいえ、そんなことはありません。下北の素晴らしさを地域のみなさんが知り、誰もが下北の良さを語っていくようになることで、今まで以上に魅力的な下北が生まれ、それが結果的に人口交流を生み、地域発展につながります。

今まで、個々にすばらしかった自然や文化や食や人柄を「ジオパーク」というツールでひとつにつなぎ、下北をまるごと楽しみ、楽しんでもらう。
それが、下北ジオパークが目指す未来です。

みなさんの下北自慢は、何ですか?

詳しくは
下北ジオパーク推進協議会
市企画部ジオパーク推進課

〒035-8686
むつ市中央一丁目８番１号
☎　0175-22-1111
内線 2811 ～ 2815

下北ジオパークについては、下北ジオパーク推進協議会のホームページでご紹介しています。